

ソフトマネジメントによる労働時間削減の好事例

取組名 IoT 分電盤の採用

取り組んだ現場の休暇取得状況

4週8休

取組み概要

・IoT 分電盤の採用。

取組みの背景・課題

・現場内照明の点灯・消灯や、精密機器仮置きによる現場内の温湿度管理に職員の労務が掛かっていた。

取組み詳細

・従来の分電盤に変え、IoT 分電盤「ノアキューブ」を採用

<モニタリング状況写真/温度・湿度を事務所でモニタリング>



効果

・従来、職員の手間がかかっていた照明の点灯・消灯を遠隔操作することができ、また、温湿度遠隔モニタリングが可能となることで職員の業務効率化が図れた。

利点

- ・照明の点灯・消灯が遠隔で行えるほか、標準で搭載されたカメラで現地の画像を送信でき、離れていても現場の状況をリアルタイムで把握できる。
- ・オプションで温湿度計のデータを現場事務所にてモニタリングできる。

継続のポイント

・当初の仮設分電盤の適切な設置計画。

改善点

- ・LAN ケーブルを配線して、データ送信を行う方式としたが、場内の配線量が増えて管理が煩雑になる（LAN 断線の際の修復は専門担当部門にて実施する必要がある）などがあった。

市販ソフト

・ノアキューブ（株）大林組

参考資料等

・特になし

適用条件等

・現場にインターネット環境

検索用分類

意識改革 業務削減 効率化 人材育成・教育 ワークシェア
適正工期 休暇 ワークライフバランス その他